



まるほん旅館			
業種	宿泊・飲食サービス業	事業所所在地	青森県下北郡風間浦村
		資本金	
		従業員数	1名
 		被承継者（左）	
		長谷 津恵子	85歳 ※承継時
		承継者（右）	
		長谷 雅恵	60歳 ※承継時
事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係	
2018年	8月	子ども	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
かつてニシン漁が盛んに行われた頃、各地から多くの人が風間浦村下風呂を訪れており、そのお客様を泊めるため先々代が明治20年（1887年）に部屋数8部屋の温泉旅館として開業。		・既存商品・サービスの利益の拡大（売上原価や販管費の改善） 震災後の宿泊客の減少、顧客の高齢化、設備の老朽化に加え経営状況も悪化してきた。既存顧客の掘り起こしや衛生安全設備の改修などが急務になっているが資金不足のため新たな取り組みや改善になかなか着手できずにいる。	

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 2年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
現在温泉旅館として経営しているが、安全設備の不備を指摘され、その改善が必要になった。その資金の調達方法を商工会、金融関係に相談した結果、いま現在の経営方法他を見直す必要を感じ承継を決意した。	実際には承継者が経理面など、関係機関との折衝をしてきているので承継した後に改善しなければならない事柄の確認など。	特になし
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	承継後の事業の管理、支援などは風間浦村商工会の方にサポートしていただく。金融機関への資金調達に関しては、青森県よろず支援拠点に相談した。集客に関しては地域限定旅行業Yプロジェクトと連携した。	現在の業務を発展させて行く必要と、責任が重くなる事。

これに一番苦労した！

自分にとって歴史のある事業を承継する事は、その歴史を消してしまわない様にどうして行けば良いのかが一番の重要課題になる。それに向けて、今現在の障害を少しでも小さくして最良の結果が出せるのか、そしてそれを実現させて行くことが苦労したと言うか、苦労している真っ最中である。また、今まで何十年も一人で背負ってきた母の尊厳を守りつつ承継事業を進めていくのはなかなか苦労が多かった。今までのやり方を改めなければならない事を理解してもらった事が一番苦労した事。

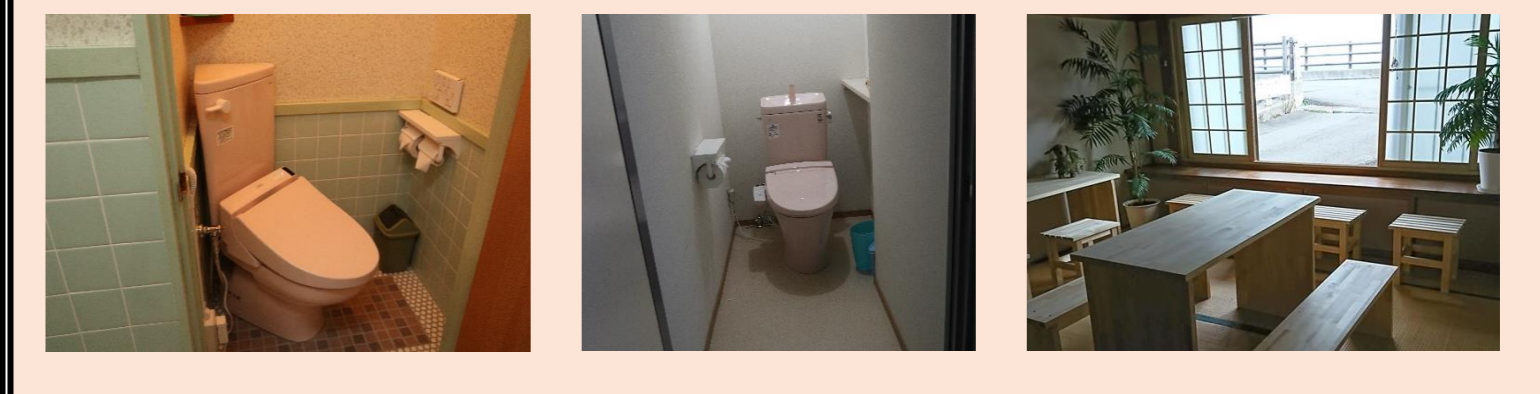
事業承継について相談したこと	
相談機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	
いつから相談？	事業全体の管理、支援などは風間浦村商工会の方のサポートを受け、金融機関への資金調達は青森県よろず支援拠点に相談した。金融支援は青い森信用金庫並びに日本政策金融公庫から受けた。今後もこの支援サポートは続けていただく予定である。理解ある方々のサポートにより、この事業を実施できたと思っている。これから、事業がどの様な形になって行くのかは自分自身でも不安でもあるので、その時々に必要なサポートの提供を続けていただきたいと思います。
承継実行の 2年前	
相談のきっかけ	
事業承継のために承継者または被承継者自身がアプローチ	

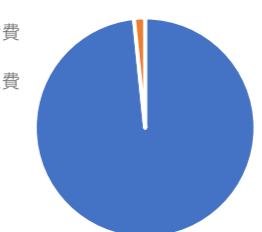
新たな取組の標題

老舗旅館若女将による喫茶 おもてなしと体験型観光の実施

新たな取組の内容	新商品の開発又は生産
----------	------------

- 東日本大震災以降、宿泊客の減少、顧客の高齢化、設備の老朽化が著しくなり、経営状況も悪化してきている。
- そのため、まるほん旅館のトイレ設備の改修を行うとともに、施設の一部を改装してお泊りのお客様以外の方々もご利用ができ、癒しの空間として地区内の高齢者のよりどころとしても利用可能な喫茶および土産雑貨販売を新たに開始。また、体験型観光メニューを開発して、新規顧客の獲得を目指す。
- 体験型観光メニューでは、近年減少している「湯治」を現代風にアレンジし、単に温泉で体を癒していただくだけでなく、喫茶スペースにて薬膳茶などの健康体験をしていただくなど、体験型・着地型観光を通して温泉郷全体を巻き込みながら地域活性化を図る。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
経済状況の悪化により、地域の同業者も厳しい現状である。今回の事業が今後の経営の助けになる事に少なくとも興味を持ってくれた事業者があった。また、地域限定旅行者Yプロジェクトも今後の事業に興味を持ち、協力して集客のための行動を起こすとの申し出があった。	<p>■ 設備費</p> <p>■ 外注費</p>  <p>経費の主な使い道</p> <p>設備費 (トイレ改修工事、喫茶室改修工事) 外注費 (Webサイト追加制作費)</p>

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施

事業承継補助金とは何ぞや？、経営革新とは何ぞや？、どのようにして申請書を作成すれば良いのか全く分からない状況だったにもかかわらず、一つ一つを解決してくれました。制度の内容説明から補助事業でやるべきこと、補助事業の実績報告書作成支援などなど、支援機関単独並びに支援機関が連携したサポートが受けられました。

今後に向けて～次の目標	
2018年から2021年に向けて	新規滞在型宿泊プランを作成し、滞在客を増やす（喫茶部分を活用する）。インバウンドにも力を入れ海外も視野に入れた宣伝に力を入れる。それらを基に関係各所と協力して、体験型の宿泊プランを根付かせる。
売上高	20 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
特になし	全く新しい事を始めるのではなく、今ある事を引き継ぎ力をつけて行く方法を考えなくてはいけない。歴史とそれに関係してきた人を大切にしつつ事業を進めなくてはならないので、難しい事が沢山ある。しかし、多方面で事業承継を後押ししてくれる制度が増えてきているため、自分の気持ち次第で協力してくれる人は沢山いらっしゃる。色々相談してみる事が大切だと思う。